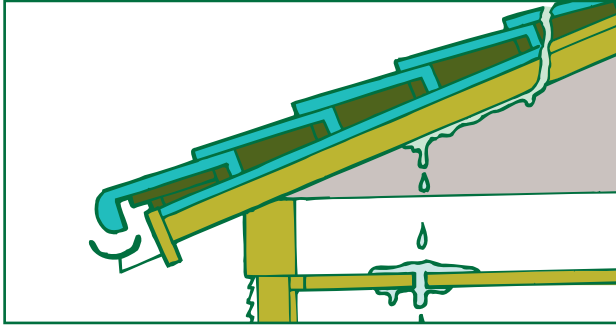


## 雨漏りを見つけるコツ

### 1 雨漏りしたときの状況

雨の多い、少ない、風の吹きつけ具合などをチェックしておきます。しとしと降っているときには漏らなくて、強い吹きぶりのときだけに漏るというような場合は、明らかに吹きつける方向が問題になります。

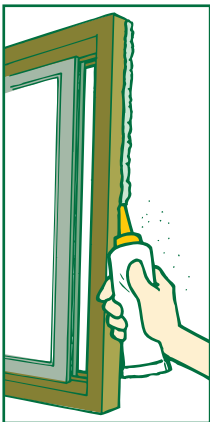


### 2 天井から漏る場合は

その真上よりも、そこから1mぐらい上部に原因があると考えて、雨の上がった日に屋根に上り、その付近の瓦の割れやずれを探してください。

### 3 強い吹きぶりのときだけ雨が漏るという場合は

1階と2階の外壁の立ち上がり部分や、サッシと外壁の接ぎ目にすき間ができて、雨が漏ることがあります。小さなヒビ割れやすき間は、毛細管現象で雨を吸いこみやすいということを覚えておきましょう。すき間やヒビ割れはアルミ防水テープやコーキング剤で充てんしてください。

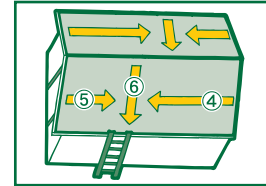


## ここがポイント!

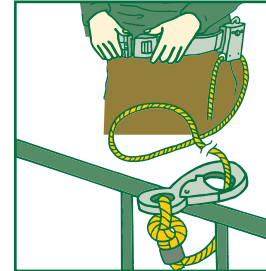
### 屋根を塗る前に…

屋根を塗る場合は塗る順序をよく考えてから塗りはじめましょう。イラストのようにして、最後ははしごにかかる部分に来るようにしましょう。

- 全体を塗る前に塗り順を考えて下さい。降りる場所がちゃんと最後になるように、塗る順を考えて下さい。そうでないと、せっかく塗ったペンキの上を歩かなくてはならない羽目になります。



- 安全ロープを必ずつけましょう。屋根の塗装やテレビアンテナの取り付けなど、屋根の上で作業をするときには必ず安全ロープを締め、ベランダの手すりなどにつないでおきましょう。



## サービスのご案内



配達・ベカン便 切り売り商品 修理

● クレジットもご利用になれます。



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり



ホームセンターセキチュー

制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部  
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

# 屋根瓦・コロニアルの補修

自分でやってみよう!

セキチュー  
How to D.I.Y

51



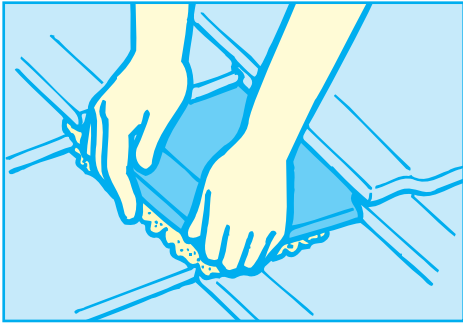
屋根は普段あまり見ないものなので、瓦がずれていたり、割れていたりしても分かりません。雨が降って雨漏りがして初めて屋根の異常に気づくという場合がほとんどではないでしょうか。たまにはわが家の屋根を少し遠くから眺めるか、はしごをかけて上って、異常がないかどうか、チェックしてみてください。

# 屋根瓦・スレート・カラーベストコロニアルの補修と塗り替え

## 補修

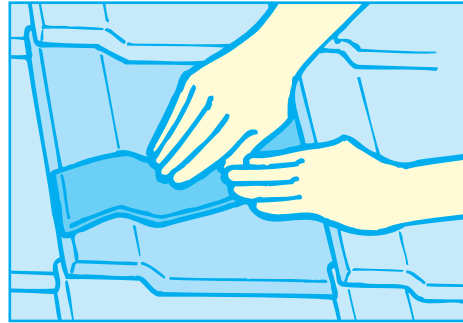
### 【瓦のずれ】

下の棧を止めているクギが腐蝕して棧がずれると、上に乗っている瓦もずれてしまいます。部分的なずれのときはまわりの瓦と、そのずれている瓦を瓦用セメントで固定してください。しっくいを使うとヒビ割れが起きて、雨漏りの原因になることもありますので、専用のセメントのほうが接着力もあるので、こちらを使った方がいいでしょう。スレートやカラーベスト・コロニアルも同様です。



### 【瓦の割れ】

割れた瓦のまわりを雑巾できれいにしてから、屋根防水テープをヒビ割れにしっかりと貼ってください。



## 鼻かくしの塗り替え

鼻かくしとは、庇(ひさし)の先端をおおう板のことで、瓦以上に早く、塗った塗料がはがれてきますので、3~5年に一度は塗り替える必要があります。

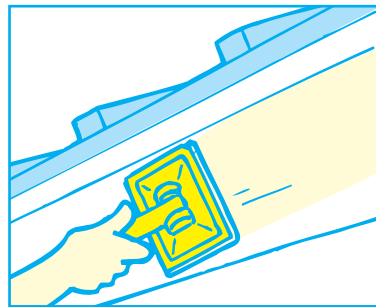
### 1 ペンキのはがれをとる

ワイヤーブラシか荒目のサンドペーパーで、はがれかかっている塗装部分をこすって落とし、雑巾できれいにしてから乾燥させます。



### 2 まず裏から塗る

木部用の水性つや消し塗料を筋かい刷毛で最初に裏側を塗ります。表側はコテバケで塗ると早く均一に塗れます。



### 3 2回塗りをする

1回目の塗料がよく乾いてから2回目も同じように塗ります。

## 塗り替え

カラーベスト・コロニアルは塗り替えが必要ないと思っている方が多いようですが、年が経つにつれて防水性がなくなってきますので、5~7年で塗り替えた方が長持ちします。またセメント瓦やスレートも同じで、だんだんと防水性が薄れてきますので、5~7年ごとに塗り替えましょう。以前と違う色にするとまた雰囲気も変わっていいものです。

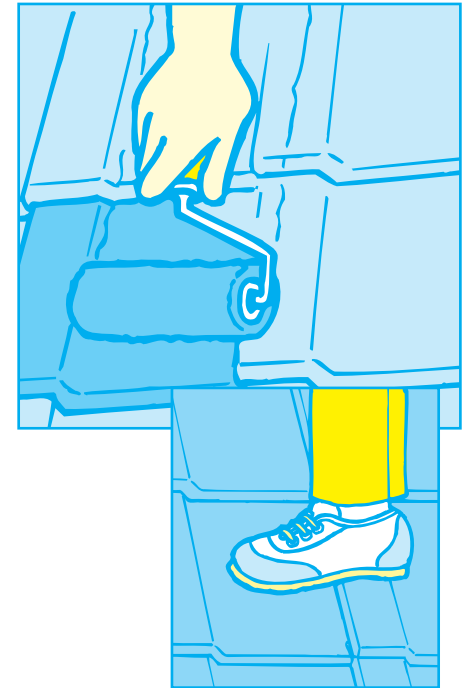
### 1 ごみやほこりをとる

ほうきでごみやほこりを掃き下ろし、風化している部分はワイヤーブラシでよく落とします。割れているところは屋根防水テープを貼って補修してください。



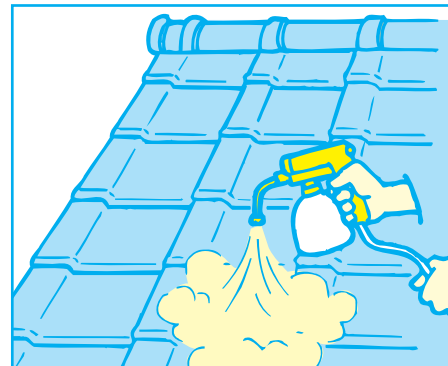
### 2 油性シーラーを塗る

よく乾燥した日を選んで塗装しますが、まず塗料を塗る前に油性シーラー(下地調整剤)をローラーバケか筋かい刷毛で塗ります。塗装の仕上がりが良くなります。



### 3 屋根用塗料を塗る

水性屋根用塗料をローラーバケで塗ります。ペイントスプレーヤーを使う場合はペイントを少し薄めにして、スプレーヤーは水平のままノズルを下に向けて噴射させていくと効率的に塗れます。



### 4 2回目を塗る

塗料がよく乾いてから2回目を同じように塗っていきます。3回塗りぐらいまでの方が塗料の膜が強くなって防水性も高くなります。

※瓦に乗るときは、瓦の重なった部分に土踏まずをかけるように乗ります。平らな部分に乗ると瓦を割ってしまうことになり、何にもなりません。